

## II 暮らしの向上

### 9 景観・環境の保全と創造

#### 1 美しく風格のあるまちなみ景観の保全・創造

主担当部局(長)名  
景観・環境局長 榎田 斉志



市民に親しまれる高田千本桜と高田川(奈良県景観資産)

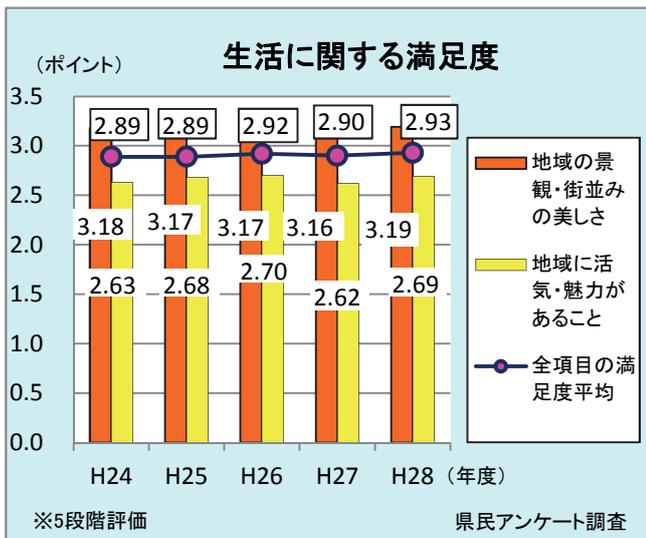
#### 目指す姿

奈良ならではの”美しい自然・景観”や”快適な生活環境”を守り・創り・育む「きれいに暮らす奈良県スタイル」を構築・定着させ、「住んでよし」「訪れてよし」の地域づくりを目指します。

#### これまでの成果

- ・平成27年度までに奈良県景観資産に登録された138件について、チラシ及び冊子を作成し、東京まほろば館等に配布しました。また、パネル展を東京まほろば館等5カ所で行い、景観資産のPRを実施しました。
- ・「『植栽ジャーナル』なら四季彩の庭」を発行し、県・市町村・地元団体・企業等による植栽整備・維持管理の取組を紹介し、普及啓発に努めました。
- ・景観上大きな影響を及ぼす屋外広告物に関する規制の強化等を促進する手法を検討するため、中和幹線をモデル路線として、平成29年3月に、関係市町及び県が連携して中和幹線屋外広告物ガイドラインを策定しました。

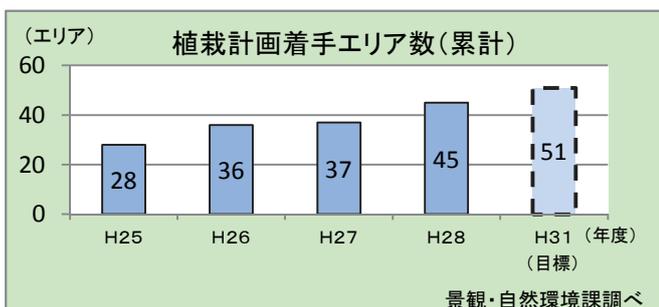
### 1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	美しく風格のあるまちなみや多様で豊かな自然を守り・創り・育てます。
取組	建築物や屋外広告物等の規制誘導による景観の保全、奈良県植栽計画に基づく「なら四季彩の庭」づくりの推進、「なら景観フォーラム」の開催等による県民の景観への意識向上等、良好な景観を守り、創り、育て、活用するための各種取組を行いました。
成果	県民の生活に関する満足度のうち、「地域に活気・魅力があること」について、全項目の満足度平均との差を過去5年の平均値と比較すると、0.24ポイント低くなっているものの、「地域の景観・街並みの美しさ」については、同比で0.27ポイント高くなっています。

### 2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	①平成31年度までに、奈良県植栽計画に位置付けた51エリアすべての整備に着手します。(H26年度:36エリア) ②平成32年度までに、県民の「生物多様性」の認知度を80%にします。(H27年度:38%)
------	--



取組	奈良県植栽計画の小庭(エリア)整備計画に位置づけられた各種取組を推進しました。(①)
成果	県事業の着実な推進及び市町村事業の支援を図り、45エリアで植栽整備に着手しました。